

KEYAK!

9月号

今回、保護者の皆様方にはご心配をおかけ致しました。感染者がおらず、早期に再開ができる運びとなったのも日頃の皆様の心がけはもちろん、保健所をはじめとする医療機関の迅速なアドバイスと対応、処置の速さの賜物です。保護者皆様、職員、医療機関すべての方々に感謝申し上げます。そして検査を受けた子どもたち、がんばりました。

経緯を含めお伝えしたいことはたくさんあるのですが、園においてもこれまで以上の感染予防・防止に努めてまいりますのでよろしくお願い致します。

以下の文章は、9月1日に発行予定でありました9月号の内容そのままになりますのでご了承下さい。

一学期の終わりに、子どもたちにおうちでもたくさんありがとうを言おう、という話をしました。休み期間中、ご家庭ではいかがだったでしょうか。ありがとうは言ったほうも言われたほうも気分がよくなる言葉だと思います。ごめんねも含めて、それらの言葉が子どもたちの中で自然に出てくるようになると、生活自体がとてもスムーズに進んでいくのではないかと考えています。私たちのお手本があるとなおさらですね。セミの鳴き声なんかも暑さを倍増させてくれてやかましいですが、短い期間に命燃やしていると思うと上を見上げて、お前も頑張れよ、とつぶやいてみたり、自然の残っていることに感謝したり、園庭でセミの抜け殻探しに夢中になっている子どもたちを見ると、セミさんありがとうな気分になってきます。セミの穴や抜け殻ひとつから想像力を働かせて、ものごとのフシギやギモンを思う存分味わってもらいたいと思っています。

もうひとつ味わってもらいたいものはやはりこの時期、うんどうかいの雰囲気です。子どもたちだけでなく、保護者の方もじいじばあばもその他の方全てに観ていただきたい！そう思っているのですが、現在の状況下ではそれが叶わないかも知れません。学年ごとに時間や日程をずらして運動会等を行うところもあるようですが、けやきようちえんの核になっている思いとして、年少さんたちが年中を見て、年中さんたちが年長を見て、年長さんたちはすべてに見せてそれぞれ自信や憧れを抱きつつ、自分たちを重ねて未来を見ていきます。そのつながりを大切にしていきたいと思っています。

現時点では、ご来場の方の人数制限、各学年の種目減、午前終了（お弁当なし）、卒園児及び未就園児かけっこの未開催等を考えざるを得ません。詳細につきましてはなるべく早い段階で皆様にお知らせできるように致します。もし仮に、来場の人数制限を行った場合でもある程度密な状態になってしまうことは避けられないと思います。皆様のご理解とご協力が不可欠なうんどうかいになると思われますが、この幼稚園なら皆様がきっといううんどうかいにしてくれる。何卒よろしくお願い致します。

大きな声での応援なども控えていただくことも考慮し、マル秘応援グッズの配布なども考えていたりいなかったりです。